

政治姿勢

本市の稼ぐ力 成長戦略はなにか

高橋 弘行
(発言と行動する会)

問 行田市駅にエレベーターを設置し、乗降客を増やす活力戦略。市長の考えはどうか。

答 いつまでとは正確には言えないが出来るだけ早く対応したい。2〜3億円程度必要、費用対効果も含め話めたい。

問 総事業費3億2千万円の計画で北谷通りを石畳にした。市民よりムダとの声が増えた。この事業で、市税歳入が増える稼ぐ力と費用対効果は。

答 まち並み環境整備を目的とした事業で経済価値を客観的に算出することは困難。本事業により訪れたい、住みたいと思う人が増えることで経済価値も高まると考える。

問 5300万円を使いバスターミナル観光案内所を開設。市長は稼ぐ力として市内業者の土産品を置く指示をしたか。

答 土産品を売れる方法を検討している。売場面積が30㎡と少なく、公平性の原則から

ら実施方法を検討していく。

問 J R 行田駅前に遊休市有地。市は3〜5億円の多大な利益を無くしている。財政健全化上、市債残高と利息、市長の稼ぐ土地活用政策は。

防災対策

被災者 支援システム について

大河原 梅夫
(公明党)

答 市債残高約46.3億円、支払利息約46億円、J R 行田駅前広場再整備基本計画の進捗状況と財政状況を踏まえ、活用方針を検討していきたい。

問 被災地から学ぶべき教訓として、災害発生時に自治体が行う復旧事務や被災した市民に必要な支援をスムーズに実施することを目的とする「被災者支援システム」は、復旧、復興のために必要不可欠なシステムであることから、東日本大震災以降、多くの自治体でシステムの導入が進んでいる。先進的な狭山市を参考に導入してはどうか。

答 災害時において被災した市民に公平な支援を効果的に

実施するために行田市の現基幹システムと効率的、効果的に連携できる被災者支援システムの導入を研究していく。基幹システムが狭山市と同様なものであれば視察したい。

●食品ロス対策について

問 まだ食べられるのに捨てられている食品ロスの解消のため、米や野菜、賞味期限切れ間近の食品などを高齢者施設や生活困窮者などへ無償で配付するサービスを行うフードバンクの活動が増えてきている。本市の取り組みは。

答 家で余っている食品を集め、生活に困窮している方や福祉施設等に無償で配付する「フードドライブ事業」を今後、社会福祉協議会が実施予定であるため、支援を行っていききたい。

問 高齢者の交通手段、デマンド交通の導入は実現するか。

答 75歳以上の高齢者を対象に平成29年4月からタクシールの利用補助を検討している。

問 以前のデマンド実験時、予約制は不便という意見があったが、一般のタクシー同様即時対応できる形になるか。

答 そのように対応したい。

問 シルバー人材センター登録者が十分に確保できているか。遠方の方のため登録説明会に公民館は利用できないか。

答 センターに申し入れる。[その他の主な質問] ○空き家空地対策について

まちづくり

「大規模道の駅」 建設で市民の福祉が 守られるのか

三宅 盾子
(まちを住みよくする会)

市の取り組みに遅れないか。

問 認知症患者や介護家族のための施策である認知症サポーター研修会の開催やサポーター数、また認知症カフェの設置が少ないのではないか。

答 少しずつ実施している。

問 高齢者や認知症患者を守る成年後見人制度と任意後見制度の周知が遅れている。認知症あんしんガイドブックにも掲載されていないがどうか。

答 必要性は理解している。早急に掲載したものを作りたい。

問 高齢者の交通手段、デマンド交通の導入は実現するか。

答 75歳以上の高齢者を対象に平成29年4月からタクシールの利用補助を検討している。

問 以前のデマンド実験時、予約制は不便という意見があったが、一般のタクシー同様即時対応できる形になるか。

答 そのように対応したい。

問 シルバー人材センター登録者が十分に確保できているか。遠方の方のため登録説明会に公民館は利用できないか。

答 センターに申し入れる。[その他の主な質問] ○空き家空地対策について

問 人口減少問題、公共施設の維持管理費や建て替え問題、地方交付税の削減等、財政をめぐる問題は山積している。大規模道の駅(産業交流拠点)の建設で、黒字の採算はあるのか。平成11年に道の駅構想があったが、中止となった。理由は、視察した全部の箇所が赤字だったということ。過去の検証や反省はなかったか。

答 当然、それは考えた。

問 民間業者は利益が出なければ撤退する。膨大な施設が本市にふさわしいか。

答 民間業者が建設し、市は一切資金を出さない。

問 民間業者の利益が上がらなかつたらどうなるのか。

答 撤退の標準基準を民間側が提示してくる。

問 産み育てやすいまちづくり

社会 安心安全で 生き生きした生活が 送れているか

細谷 美恵子
(発言と行動する会)

高齢化が進み人生90年時代の仕組みを社会全体で考えなければならぬ時が来た。本